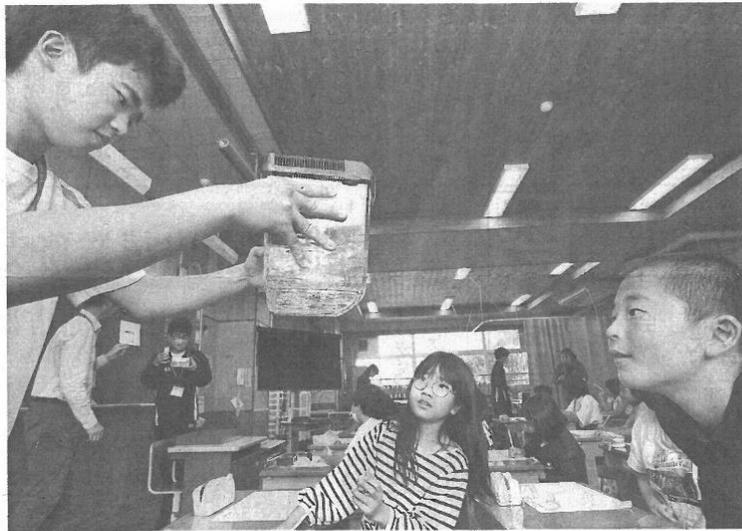


地域の川の生き物学ぶ

東雲高生が講師に
城南小 4年生

篠山東雲高校自然科学部の5人と顧問の

教諭がこのほど、城南小学校で、4年生(26人)に向けて、地域を流れる真南条川と小枕川に生息する魚類について講義した。両川にはまだ数多くの生き物がくららしている一方で、河川工事や外来生物などによって生息環境の悪化が進んでいることを説明。また、講義の中で登場するさまざまな魚の実物を見せる工



水槽の魚を食い入るように眺める児童＝丹波篠山市小枕で

夫を凝らし、児童たちの興味を誘った。教諭が講義を行い、部員たちが話の内容に合わせてオイカワやカワムツ、ドンコなどの魚を入れた小さな水槽を抱

え、席に座って耳を傾ける児童のそばをゆっくりと歩いて見せて回った。教諭は、治水目的で川底にたまった泥や砂などの堆積物を除去してしまつたため二枚貝が生息

暮らしの影に、ひっそりと姿を消している生き物が数多くいることを伝えた。

興味津々だった児童の「さんは、僕たちの周りにはまだ、いろいろな生き物がいて自然が豊

2024年5月19日
丹波新聞

かだけれど、人や外来生物の影響でたさんの生き物が絶滅危惧種になつてしまつていることも分かった」と話していた。

4年生は社会科でこみと水について学んでおり、生き物と絡めながら環境問題の学習を深めて